

一般質問の模様は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。



中東情勢を見据えた 本市の行財政運営と リスクマネジメントについて



志友会 八長 孝之

議員 昨今の社会経済情勢に起因する複合的なリスクへの認識と、今後想定される不確実性の高い状況に対する危機管理体制について、市長の所見を伺います。

市長 市民生活に大きな影響を及ぼし、迅速に対処しなければならない領域の広さを認識しています。本市の自然災害以外の緊急事態に関しては、太田市危機管理行動計画を定め、全庁的な危機管理体制を構築していますが、今後もあらゆる事象に対して危機感を持ち、関係機関とも連携を図り、状況に応じた組織体制を整え、市民の生命と財産を守り、安全・安心なまちづくりに努めていきたいと考えています。

議員 持続可能な行財政運営について伺います。

市長 不透明な状況が続く中でも市民サービスを維持していくことは重要であり、実施計画に位置付けた事業でも改めて精査し、優先度

に応じて一時的な見送りも視野に入れ、メリハリのある予算付けを行うなど、持続可能な行財政運営に努めていきたいと考えています。

議員 本市全体の将来を見据えたときに、物価高対策においては、支援策も検討していかなくてはならないと考えますが、検討状況について伺います。

市長 支援の検討は常にしているものの、市単独で行えることは限られており、国の動向を踏まえ、政策の立案に努めていきたいと考えています。



北朝鮮による拉致問題について



太田クラブ 若林 卓実

議員 北朝鮮による拉致問題、人権侵害問題は、地方公共団体の責務として、国との連携を図りつつ、拉致問題や人権侵害問題に関する国民世論の啓発を図るよう努めるものとする規定されており、市も国と連携しながら市民への啓発に努める責務が課されていますが、本市の認識と今後の取り組みについて、所見を伺います。

市民生活部長 人権施策推進の基本計画の中で市民の理解と関心を深めることが重要と位置付けています。問題が風化しないよう教育や啓発に努めたいと考えています。

議員 拉致問題の早期解決に向けた機運醸成や啓発活動の重要性について、市長の所見を伺います。

市長 拉致問題は国際的問題であり、国の役割が大きいと捉えています。早期解決が必要であり、啓発活動を継続的に取り組むことが重要な責務と考えています。

議員 市民一人一人が関心を持ち続けることが重要であると考えますが、より積極的な啓発活動について、所見を伺います。

市長 国や県と連携をしながら、市民一人一人が関心を持ち続けられるような啓発活動を研究、実施していきたいと考えています。

■その他の質問

▷交通弱者への支援策について

▷子ども達と高齢者を守る防犯対策について

▷外国人市民の増加に伴う地域課題について



民生委員・児童委員の 処遇改善について



市民ファーストの会 大川 敬道

議員 民生委員・児童委員を取り巻く環境の変化について伺います。

福祉こども部長 高齢者世帯の増加や社会構造が変化する中で役割は増す一方、担い手の確保が難しい現状であると認識しています。

議員 民生委員・児童委員の活動内容について伺います。

福祉こども部長 毎月1回の定例会議のほか、随時、相談と支援、母子家庭や高齢者の調査や訪問、研修などの活動をしています。

議員 調査内容によっては負担を感じる委員もあり、改善が必要と考えますが、所見を伺います。

福祉こども部長 過度な負担とならないよう配慮しながら適切な制度運営に努めたいと考えています。

議員 民生委員・児童委員は重要な役割であり、今後も継続して活動するための負担軽減や業務体系のスリム化が求められると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 相談支援活動が過度な負担にならないように配慮しながら、活動しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。

議員 活動費補助の増額が必要と考えますが、所見を伺います。

市長 活動費補助は、委員活動を支援するうえで非常に重要ですが、法により費用弁償という制約がありますので、今後も他市の状況や社会情勢を踏まえながら、研究していきたいと考えています。

■その他の質問

▷福祉施策の充実について



路上喫煙及びたばこの ポイ捨て対策について



弦音会 清水 梨花

議員 本市の路上喫煙とたばこのポイ捨ての実態の把握について伺います。

産業環境部長 区長や環境保健委員からの情報、ごみ拾いや啓発活動により把握しています。

議員 ナッジ理論を活用し、投票箱に見立てた喫煙ボックスを導入することで、マナー向上を図れると考えますが、所見を伺います。

産業環境部長 ポイ捨ての削減に効果がありますが、設置効果のある地域を考慮し、他市の事例を研究していきたいと考えています。

議員 喫煙場所の整理やルールの明確化など、喫煙者而非喫煙者が共存できる環境整備が必要と考えますが、市たばこ税を活用したポイ捨てゼロに向けた実証実験について、市長の所見を伺います。

市長 路上喫煙やたばこのポイ捨て対策は重要な課題ですので、先進事例を注視しながら研究してい

きたいと考えています。

議員 単に喫煙者を規制するのではなく、喫煙者而非喫煙者が共存できる環境の構築について伺います。

市長 喫煙者而非喫煙者が共存できる環境をいかに構築するか、対策を研究しながらクリーンで環境にやさしい太田市の実現に取り組んでいきたいと考えています。

■その他の質問

▷ごみ集積場の管理とごみ飛散対策について

▷資源ごみ回収拠点の利便性と盗難対策について

